令和元年 12 月 10 日までに本冊子をご購入いただいた方へ

令和元年 12 月 10 日時点で本冊子 P.54 から P.59 に落丁があることが判明いたしました。
既にご購入いただいた冊子をお持ちいただければ、令和２年１月以降に落丁のない新しい冊子とお取替えいたしますので、下記までお問い合わせください。

東京都都市整備局市街地整備部企画課　（代表）03-5321-1111　（内線）31-246

「東京都における市街地再開発事業の概況（都市再開発法制定 50 周年記念版）」を発行しました

東京都では、このたび、「東京都における市街地再開発事業の概況（都市再開発法制定 50 周年記念版）」を発行いたしました。

本誌は、都内における市街地再開発事業の動向を概観し、各事業の詳細データを掲載しているもので、毎年発行を続けております。今年度版については、本年が都市再開発法の制定 50 周年にあたることを記念し、様々な特集記事を掲載しております。

「東京都における市街地再開発事業の概況（都市再開発法制定 50 周年記念版）」冊子の販売及び閲覧について

「東京都における市街地再開発事業の概況（都市再開発法制定 50 周年記念版）」冊子の販売及び閲覧を以下のとおり行います。

<期日>	令和元年 10 月 31 日（木曜日）から
<場所>	販売：都民情報ルーム刊行物販売コーナー　閲覧：同 閲覧コーナー 都庁第一本庁舎３階北側 電話　03-5388-2276 利用時間　9 時から 18 時 15 分まで （ただし、土曜日、日曜日及び祝日などの閉庁日を除く。） ※郵送での販売については上記連絡先にお問い合わせください。
<頒布価格>	本体価格　1,596 円＋税
<特集記事の内容>	●都の都市づくりと都市再開発法 50 年の軌跡を年表形式で概観 ●都内再開発の代表的な事例を紹介

お問い合わせ先

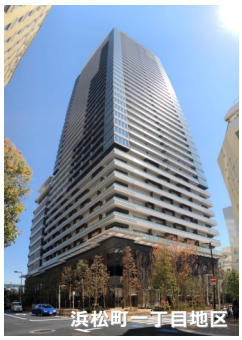
ご購入について	東京都都市整備局市街地整備部企画課
TEL	（代表）03-5321-1111　（内線）31-246
冊子の内容について	東京都都市整備局市街地整備部再開発課
TEL	（代表）03-5321-1111　（内線）31-262

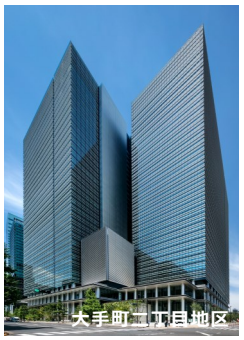
令和元年度版　東京都における

市街地再開発事業の概況

都市再開発法制定５０周年記念版

都市再開発法制定５０周年を記念し、特集記事を掲載





主な特集記事

- ◆都の都市づくりと都市再開発法50年の軌跡
- ◆都内再開発の代表地区事例紹介（16地区）

- 都内における一年間の再開発の動向を巻頭で概観
- 都内を５つのエリアに分け、地区データ及び各エリア別の地図を掲載
- 平成31年3月末現在の市街地再開発事業の詳細データ（全体表と地区データ）を収録
- 平成30年度における事業中地区と新規に都市計画決定された地区を冊子に収録
- 付録CD-Rには、都内すべての再開発の地区データをカラー版で収録（pdf 形式）

販売価格：1,596円（税別）

（Ａ４版１冊　全３５２ページ　ＣＤ-Ｒ付）

都庁第一本庁舎３階北側都民情報ルームにて販売中！

----------お問い合わせ先----------

ご購入について　東京都都市整備局市街地整備部企画課

TEL　（代表）03-5321-1111　（内線）31-246

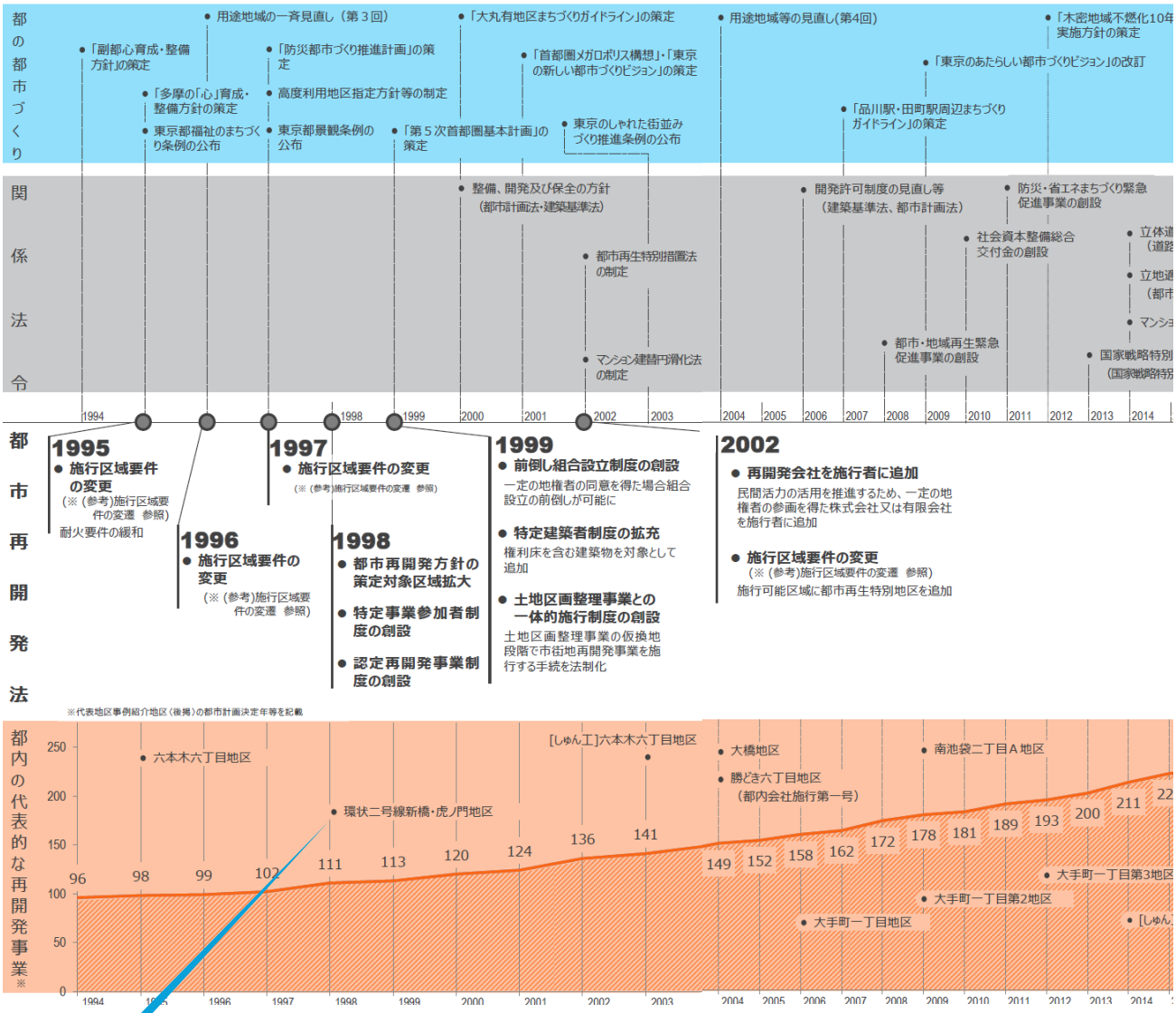
冊子の内容について　東京都都市整備局市街地整備部再開発課

TEL　（代表）03-5321-1111　（内線）31-262

掲 載 内 容

都の都市づくりと都市再開発法50年の軌跡を年表形式で概観

都の都市づくりにおける都市再開発法50年の軌跡（1994-2019）



都内再開発の代表的な事例を紹介

環状第二号線新橋・虎ノ門地区（港区）

―立体道路制度を活用した再開発 ―

環状第二号線新橋・虎ノ門地区は、特定都市再生緊急整備地域「東京都心・臨海地域」に位置し、施行面積約8.0ha、延長約1.35kmに及ぶ市街地再開発事業である。

本事業は、都市の骨格を形成し東京の都市構造を再編、誘導する環状第2号線を整備するとともに、立体道路制度を活用して当該道路の上空及び路面下において建築物の整備を一体的に行い、魅力と個性ある複合市街地を形成することを目的として施行された

平成30年度の事業中地区と新規都市計画決定地区を冊子に収録

NO. 239　泉岳寺（せんがくじえき）駅地区（都施行）

1　計画の概要

計画地	港区高輪二丁目、芝浦四丁目及び港南二丁目各地内		
計画の概要	泉岳寺駅は、羽田空港にアクセスする「京浜急行線」と都心部や成田空港にアクセスする「都営浅草線」が接続する駅として、地域を広域的に結節する機能を担っており、空港利用への需要の増大に伴って、その重要性が高まっている。 加えて、泉岳寺駅周辺では、JR東日本の車両基地跡地などを中心に、国際交流拠点として開発が進むことから、今般、泉岳寺駅の利用者がさらに増加することが見込まれている。 泉岳寺駅利用者の増加に伴い、乗降客の安全性・利便性の確保を図るためには、泉岳寺駅全体の改良が必要となるが、、現状の国道の下の地下空間だけではホームの拡幅も困難であり、隣接する民有地も含めたまちづくりと一体となった整備が不可欠である。 さらには、令和2（2020）年の高輪ゲートウェイ駅暫定開業までに、高輪ゲートウェイ駅と国道15号を結ぶ補助線街路第332号線を整備することも急務となっている。 国際交流拠点としての一翼を担本地区において、こうした広域的・根幹的な都市施設である鉄道施設や幹線道路などの都市基盤整備を一体的なまちづくりで進める。		
地区面積	約1．3ha	構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上30階／地下3階	高さ	約145m

2　都市計画の内容

名称	泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業		施行区域面積	約1．3ha	
		名称	幅員	延長	面積	備考
公共施設の配置及び規模	道路	放射第19号線	16．5m【33m】	約220m		整備済み【】内は全幅員を示す。（以下同じ。）
		補助線街路第332号線	22m	約40m		
		地区幹線道路	4m【20m】	約40m		
建築物の整備	街区	建蔽率	容積率	建築物の高さの限度	壁面の位置の限度	主要用途
	1	-	-	160m	-	住宅、業務施設、商業施設、駅舎、駐車場
		建築面積	延べ面積(容積対象)	住宅建設の目標		
	1	約4，900㎡	約110，000㎡（約85，000㎡）	約350戸		